



A	
access-class コマンド	28-18
ACE	
IP	28-2
QoS	29-7
イーサネット	28-2
定義	28-2
ACL	
ACE	28-2
any キーワード	28-10
host キーワード	28-10
IP	
暗黙の拒否	28-7, 28-13, 28-15
一致条件	28-5
作成	28-5
フラグメントおよび QoS に関する注意事項	29-30
未定義	28-19
無視マスク	28-7
IPv4	
一致条件	28-5
インターフェイスへの適用	28-18
作成	28-5
サポートしない機能	28-5
端末回線、設定	28-17
名前付き	28-13
番号	28-6
MAC 拡張	28-22, 29-41
QoS	29-7, 29-38
QoS クラス マップあたりの個数	29-30
QoS のトラフィックの分類	29-38
エントリのシーケンスの再編集	28-13
拡張 IP	
QoS の分類設定	29-39
拡張 IPv4	
一致条件	28-5
作成	28-8
コメント	28-17
コンパイル	28-19
サポート	1-7
サポートしない機能、IPv4	28-5
時間範囲	28-15
照合	28-5, 28-19
定義	28-2, 28-5
適用	
QoS	29-7
インターフェイス	28-18
時間範囲	28-15
名前付き、IPv4	28-13
ハードウェアおよびソフトウェアの処理	28-19
ハードウェアのサポート	28-19
標準 IPv4	
一致条件	28-5
作成	28-7
標準 IP、QoS の分類設定	29-38
モニタ	28-25
例	28-19, 29-38
ACL エントリのシーケンスの再編集	28-13
AC (コマンド スイッチ)	5-9
Address Resolution Protocol	
ARP を参照	
ARP	
定義	1-4, 6-28
テーブル	
アドレス解決	6-28
管理	6-28
Auto-MDIX	
設定	10-17
説明	10-17
B	
BackboneFast	
イネーブル化	17-15

- サポート 1-5
- 説明 17-6
- ディセーブル化 17-15
- BPDU
 - errdisable ステート 17-3
 - RSTP フォーマット 16-12
 - フィルタリング 17-3
- BPDU ガード
 - イネーブル化 17-12
 - サポート 1-6
 - 説明 17-3
 - ディセーブル化 17-12
- BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 17-13
 - サポート 1-6
 - 説明 17-3
 - ディセーブル化 17-13
- Bridge Protocol Data Unit
 - BPDU を参照
- C
- CA の信頼点 8-40
 - 設定 8-43
 - 定義 8-40
- Catalyst 2950 スイッチのアップグレード
 - 機能的な動作の非互換項目 C-6
 - 互換性のないコマンドのメッセージ C-2
 - コンフィギュレーション コマンドの違い C-2
 - 推奨 C-1
 - 設定の互換性の問題 C-2
- CDP
 - イネーブル化およびディセーブル化
 - インターフェイス上 22-5
 - スイッチ上 22-4
 - 概要 22-2
 - 更新 22-3
 - サポート 1-5
 - 信頼境界機能 29-35
 - スイッチ クラスタの自動検出 5-4
 - 設定 22-3
 - 説明 22-2
 - タイマーおよびホールドタイム、設定 22-3
 - デフォルト設定 22-3
 - モニタ 22-6
 - ルーティング装置でのディセーブル化 22-4?22-5
- CGMP
 - IGMP スヌーピングの学習方法 20-9
 - マルチキャスト グループへの加入 20-3
- CipherSuite 8-42
- CipherSuite 暗号化 8-42
- Cisco 7960 IP Phone 14-2
- Cisco Discovery Protocol
 - CDP を参照
- Cisco Intelligence Engine 2100 シリーズ コンフィギュレーション レジストラ
 - IE2100 を参照
- Cisco IOS ファイル システム
 - IFS を参照
- Cisco Network Assistant
 - Network Assistant を参照
- Cisco Networking Services
 - IE2100 を参照
- CiscoWorks 2000 1-4, 27-5
- CIST リージョナル ルート
 - MSTP を参照
- CIST ルート
 - MSTP を参照
- CLI
 - エラー メッセージ 2-6
 - クラスタの管理 5-14
 - コマンド モード 2-2
 - コマンド出力のフィルタリング 2-11
 - コマンドの no および default 形式 2-5
 - コマンドの省略 2-5
 - コンフィギュレーション ロギング 2-6
 - 説明 1-4
 - ヒストリ
 - コマンドの再呼び出し 2-7
 - 説明 2-7
 - ディセーブル化 2-8
 - バッファ サイズの変更 2-7
 - ヘルプ、表示 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化およびディセーブル化 2-8
 - 画面幅よりも長いコマンドライン 2-10
 - キーストロークによる編集 2-9
- Coarse Wave Division Multiplexer
 - CWDM SFP も参照
- config.text 3-13
- configure terminal コマンド 10-6

- config-vlan モード 2-3, 12-7
- CoS
 - プライオリティの信頼 14-7
 - プライオリティの変更 14-7
 - レイヤ2 フレーム 29-2
- CoS/DSCP マップ、QoS 29-51
- crashinfo ファイル 31-27
- CWDM SFP 1-18

- D

- default コマンド 2-5
- description コマンド 10-18
- DHCP
 - Cisco IOS サーバ データベース
 - 設定 19-12
 - イネーブル化
 - リレー エージェント 19-10
- DHCP Option 82
 - 回線 ID サブオプション 19-5
 - 概要 19-4
 - 設定時の注意事項 19-9
 - デフォルト設定 19-8
 - パケット フォーマット、サブオプション
 - 回線 ID 19-5
 - リモート ID 19-5
 - 表示 19-14
 - リモート ID サブオプション 19-5
- DHCP スヌーピング
 - Option 82 データ挿入 19-4
 - trusted インターフェイス 19-3
 - untrusted インターフェイス 19-3
 - untrusted メッセージ 19-3
 - エッジスイッチからの untrusted パケットの受信
 - 19-3, 19-11
 - 設定時の注意事項 19-9
 - デフォルト設定 19-8
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - バインディング テーブルの表示 19-14
 - メッセージ交換プロセス 19-4
- DHCP スヌーピング バインディング データベース
 - イネーブル化 19-12
 - エージェントの統計をクリア 19-13
 - エントリ 19-6
 - 削除
 - データベース エージェント 19-13
 - バインディング 19-13
 - バインディング ファイル 19-13
 - ステータスと統計情報の表示 19-14
 - 設定 19-12
 - 設定時の注意事項 19-9
 - 説明 19-6
 - データベースの更新 19-13
 - デフォルト設定 19-8
 - バインディング 19-6
 - バインディング エントリ、表示 19-14
 - バインディング ファイル
 - フォーマット 19-6
 - 保存場所 19-6
 - バインディングの追加 19-12
 - 表示 19-14
 - リセット
 - タイムアウト値 19-13
 - 遅延値 19-13
- DHCP スヌーピング バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP ベースの自動設定
 - BOOTP との関係 3-4
 - 概要 3-3
 - クライアント要求のメッセージ交換 3-4
 - サポート 1-4
 - 設定
 - DNS 3-7
 - TFTP サーバ 3-6
 - クライアント側 3-4
 - サーバ側 3-5
 - リレー装置 3-7
 - リース オプション
 - IP アドレス情報 3-5
 - コンフィギュレーション ファイルの受信 3-6
 - リレー サポート 1-4
 - 例 3-9
- Differentiated Services Code Point 29-2

- DiffServ アーキテクチャ、QoS 29-2
- DNS
 - DHCP ベースの自動設定 3-7
 - 概要 6-17
 - サポート 1-4
 - 設定 6-17
 - 設定の表示 6-18
 - デフォルト設定 6-17
- DoS 攻撃 21-2
- DSCP 1-7, 29-2
- DSCP/CoS マップ、QoS 29-54
- DSCP/DSCP 変換マップ、QoS 29-55
- DTP 1-6, 12-18
- dynamic auto トランキング モード 12-18
- dynamic desirable トランキング モード 12-19
- Dynamic Host Configuration Protocol
 - DHCP ベースの自動設定を参照
- Dynamic Trunking Protocol
 - DTP を参照
- E
- EtherChannel
 - IEEE 802.3ad、説明 30-5
 - LACP
 - システム プライオリティ 30-16
 - ステータスの表示 30-18
 - 説明 30-5
 - 他の機能との相互作用 30-6
 - ポート プライオリティ 30-17
 - ホットスタンバイ ポート 30-15
 - モード 30-5
 - PAgP
 - Catalyst 1900 との互換性 30-14
 - 学習方式およびプライオリティの設定 30-14
 - サポート 1-3
 - 集約ポート ラーナー 30-14
 - ステータスの表示 30-18
 - 説明 30-4
 - 他の機能との相互作用 30-5
 - モード 30-4
 - サポート 1-3
 - 自動作成 30-4, 30-5
 - ステータスの表示 30-18
 - 設定時の注意事項 30-10
 - 説明 30-2
 - 相互作用
 - STP 30-10
 - VLAN 30-10
 - チャンネル グループ
 - 番号 30-3
 - 物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインド 30-3
 - デフォルト設定 30-9
 - 転送方式 30-6, 30-13
 - ポート グループ 10-4
 - ポートチャンネル インターフェイス
 - 説明 30-3
 - 番号 30-3
 - レイヤ 2 インターフェイスの設定 30-11
 - ロードバランシング 30-6, 30-13
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 17-15
 - 説明 17-8
 - ディセーブル化 17-15
 - Express Setup 1-2
 - 『Getting Started Guide』も参照
 - Extensible Authentication Protocol over LAN 9-2
- F
- Flex Link
 - 設定 18-6
 - 設定時の注意事項 18-5
 - 説明 18-2
 - デフォルト設定 18-5
 - モニタ 18-9
- FTP
 - MIB ファイルへのアクセス A-4
 - イメージファイル
 - アップロード B-30
 - 準備、サーバ B-27
 - ダウンロード B-28
 - 古いイメージの削除 B-29
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-16
 - 概要 B-13
 - 準備、サーバ B-14
 - ダウンロード B-14

- G**
- get-bulk-request 動作 27-4
 - get-next-request 動作 27-4, 27-5
 - get-request 動作 27-4, 27-5
 - get-response 動作 27-4
 - GUI
 - デバイス マネージャおよび Network Assistant を参照
- H**
- Hello タイム
 - MSTP 16-23
 - STP 15-21
 - HP OpenView 1-4
 - HSRP
 - クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 5-10
 - クラスタの自動回復 5-11
 - クラスタ、スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびスタンバイ コマンド スイッチも参照
 - HTTPS 8-40
 - 自己署名証明書 8-41
 - 設定 8-44
- I**
- ICMP
 - time-to-live-exceeded メッセージ 31-20
 - traceroute 31-20
 - ICMP ping
 - 概要 31-16
 - 実行 31-16
 - IDS 装置
 - 入力 RSPAN 23-22
 - 入力 SPAN 23-14
 - IE2100
 - CNS 組み込み型エージェント
 - イベント エージェントのイネーブル化 4-9
 - コンフィギュレーション エージェントのイネーブル化 4-10
 - 自動コンフィギュレーションのイネーブル化 4-8
 - 説明 4-6
 - コンフィギュレーション レジストラ
 - configID、deviceID、ホスト名 4-4
 - イベント サービス 4-3
 - コンフィギュレーション サービス 4-3
 - 説明 4-2
 - IEEE 802.1D
 - STP を参照
 - IEEE 802.1p 14-2
 - IEEE 802.1Q
 - カプセル化 12-18
 - 設定に関する制約 12-19
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-24
 - トランク ポート 10-3
 - IEEE 802.1s
 - MSTP を参照
 - IEEE 802.1w
 - RSTP を参照
 - IEEE 802.1x
 - ポート ベース認証を参照
 - IEEE 802.3ad
 - EtherChannel を参照
 - IEEE 802.3x フロー制御 10-16
 - ifIndex 値、SNMP 27-6
 - IFS 1-5
 - IGMP 即時脱退
 - イネーブル化 20-11
 - 設定時の注意事項 20-11
 - 説明 20-5
 - IGMP
 - Join メッセージ 20-3
 - クエリー 20-4
 - サポート 1-3
 - サポート対象のバージョン 20-3
 - 即時脱退、イネーブル化 20-11
 - 脱退タイマーの設定
 - イネーブル化 20-11
 - 説明 20-6
 - マルチキャスト グループからの脱退 20-5
 - マルチキャスト グループへの加入 20-3
 - マルチキャスト トラフィックのフラッドイング
 - インターフェイスでのディセーブル化 20-14
 - クエリー送信請求 20-13
 - グローバル Leave 20-13
 - 時間の制御 20-12
 - フラッドイング モードからの復帰 20-13
 - レポートの抑制
 - 説明 20-6

- ディセーブル化 20-16
- IGMP グループ
 - 最大数の設定 20-30
 - フィルタリングの設定 20-31
- IGMP スヌーピング
 - VLAN 設定 20-8
 - アドレス エイリアス 20-2
 - イネーブル化およびディセーブル化 20-7
 - クエリア
 - 設定 20-14
 - 設定時の注意事項 20-14
 - グローバル コンフィギュレーション 20-7
 - サポート 1-3
 - サポート対象のバージョン 20-3
 - 設定 20-7
 - 即時脱退 20-5
 - 定義 20-2
 - デフォルト設定 20-7
 - 方法 20-8
 - モニタ 20-17
- IGMP スロットリング
 - アクションの表示 20-32
 - 設定 20-31
 - 説明 20-27
 - デフォルト設定 20-28
- IGMP フィルタリング
 - サポート 1-3
 - 設定 20-28
 - 説明 20-27
 - デフォルト設定 20-28
 - モニタ 20-32
- IGMP プロファイル
 - コンフィギュレーション モード 20-28
 - 設定 20-28
 - 適用 20-29
- Intelligence Engine 2100 シリーズ CNS エージェント
 - IE2100 を参照
- interface range macro コマンド 10-9
- interface コマンド 10-6
- IP ACL
 - QoS の分類 29-7
 - 暗黙の拒否 28-7, 28-13
 - 名前付き 28-13
 - 未定義 28-19
 - 無視マスク 28-7
- ip igmp profile コマンド 20-28
- IP Phone
 - QoS 14-2
 - QoS によるポートセキュリティの確保 29-34
 - QoS 用信頼境界機能 29-34
 - 自動分類およびキューイング 29-19
 - 設定 14-5
- IP precedence 29-2
- IP traceroute
 - 概要 31-20
 - 実行 31-20
- IP アドレス
 - IP 情報も参照
 - クラスタ アクセス 5-2
 - 検出 6-28
 - 候補またはメンバー 5-3, 5-11
 - コマンド スイッチ 5-3, 5-9, 5-11
 - 冗長クラスタ 5-9
 - スタンバイ コマンド スイッチ 5-9, 5-11
- IP 情報
 - デフォルト設定 3-3
 - 割り当て
 - DHCP ベースの自動設定の使用 3-4
 - 手動 3-10
- IP プロトコル、ACL 28-9
- IPv4 ACL
 - インターフェイスへの適用 28-18
 - 拡張、作成 28-8
 - 名前付き 28-13
 - 標準、作成 28-7
- J
- Join メッセージ、IGMP 20-3
- L
- LACP
 - EtherChannel を参照
- LDAP 4-3
- LED、スイッチ
 - ハードウェア インストールガイドを参照
- Lightweight Directory Access Protocol
 - LDAP を参照
- Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-13
- LRE プロファイル、スイッチ クラスタの考慮事項 5-13

- M**
- MAC アドレス**
- ACL 28-22
 - VLAN との対応付け 6-22
 - アドレス テーブルの作成 6-21
 - エージング タイム 6-22
 - 検出 6-28
 - スタティック
 - 許可 6-27
 - 削除 6-25
 - 追加 6-25
 - 特性 6-25
 - 廃棄 6-26
 - ダイナミック
 - 削除 6-23
 - ラーニング 6-21
 - デフォルト設定 6-22
 - 表示 6-27
- MAC アドレス テーブル 移行更新**
- 設定 18-7
 - 設定時の注意事項 18-5
 - 説明 18-3
 - デフォルト設定 18-5
 - モニタ 18-9
- MAC アドレス通知、サポート 1-8**
- MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-29**
- MAC 拡張 ACL**
- QoS の設定 29-41
 - QoS の分類 29-5
 - 作成 28-22
 - 定義 28-22
 - レイヤ 2 インターフェイスへの適用 28-23
- MIB**
- FTP によるファイルへのアクセス A-4
 - SNMP との相互作用 27-5
 - 概要 27-2
 - サポート A-2
 - ファイルの位置 A-4
- MSTP**
- BPDU ガード
 - イネーブル化 17-12
 - 説明 17-3
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 17-13
 - 説明 17-3
- CIST リージョナルルート 16-3**
- CIST ルート 16-5**
- CIST、説明 16-3**
- CST**
- 定義 16-3
 - リージョン間の動作 16-4
- EtherChannel ガード**
- イネーブル化 17-15
 - 説明 17-8
- IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ**
- 移行プロセスの再起動 16-26
 - 説明 16-8
- IEEE 802.1s**
- 実装 16-7
 - ポートの役割の名称変更 16-7
 - 用語 16-5
- IST**
- 定義 16-3
 - マスター 16-3
 - リージョン内の動作 16-3
- MST リージョン**
- CIST 16-3
 - IST 16-3
 - サポートできるスパニングツリー インスタンス 16-2
 - 設定 16-16
 - 説明 16-2
 - ホップ カウント メカニズム 16-6
- PortFast**
- イネーブル化 17-10
 - 説明 17-2
- PortFast 対応ポートのシャットダウン 17-3**
- VLAN と MST インスタンスのマッピング 16-17**
- インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 17-2**
- オプション機能のデフォルト設定 17-10**
- 概要 16-2**
- 拡張システム ID**
- 異常動作 16-18
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 16-19
 - ルート スイッチへの影響 16-18
- 境界ポート**
- 設定時の注意事項 16-16
 - 説明 16-6
- サポートされるインスタンス 15-10**
- サポートされるオプション機能 1-5**
- ステータス、表示 16-27**

設定

- Hello タイム 16-23
- MST リージョン 16-16
- 高速コンバージェンス用リンク タイプ
16-25
- 最大エージング タイム 16-24
- 最大ホップ カウント 16-25
- スイッチ プライオリティ 16-22
- セカンダリ ルート スイッチ 16-19
- 転送遅延時間 16-24
- ネイバ タイプ 16-26
- パス コスト 16-21
- ポート プライオリティ 16-20
- ルート スイッチ 16-18

- 設定時の注意事項 16-16, 17-10
- デフォルト設定 16-15
- モード間のインターオペラビリティと下位互換性
15-10
- モードのイネーブル化 16-16
- ルート ガード
 - イネーブル化 17-16
 - 説明 17-8
- ルート スイッチとしての選択防止 17-8
- ルート スイッチ
 - 異常動作 16-18
 - 拡張システム ID の影響 16-18
 - 設定 16-18
- ループ ガード
 - イネーブル化 17-17
 - 説明 17-9

MVR

- IGMPv3 20-22
- アドレス エイリアス 20-22
- インターフェイスの設定 20-24
- グローバルパラメータの設定 20-23
- サポート 1-3
- 設定時の注意事項 20-22
- 説明 20-19
- デフォルト設定 20-22
- 導入例 20-20
- マルチキャスト TV アプリケーション 20-20
- モード 20-23
- モニタ 20-26

N

NameSpace Mapper

NSM を参照

Network Assistant

- イメージファイルのダウンロード 1-2
- ウィザード 1-2
- ガイド モード 1-2
- 管理オプション 1-2
- 機能 1-2
- スイッチのアップグレード B-21
- 説明 1-4
- 要件 xxxi

Network Time Protocol

NTP を参照

no 形式 2-5

NSM 4-3

NTP

- アクセスの制限
 - アクセス グループの作成 6-9
 - インターフェイスごとの NTP サービスのディ
セーブル化 6-11
- アソシエーション
 - サーバ 6-6
 - 定義 6-3
 - 認証 6-5
 - ピア 6-6
 - ブロードキャスト メッセージのイネーブル化
6-8
- 概要 6-2
- サポート 1-5
- 時刻
 - サービス 6-3
 - 同期化 6-2
 - ストラタム 6-3
 - 設定の表示 6-12
 - 送信元 IP アドレス、設定 6-11
 - 装置の同期化 6-6
 - デフォルト設定 6-5

P

PAGP

EtherChannel を参照

PC (パッシブ コマンド スイッチ) 5-9

Per-VLAN Spanning-Tree Plus (PVST+)

PVST+ を参照

- PIM/DVMRP、スヌーピング方法 20-9
- ping
 - 概要 31-16
 - 実行 31-16
 - 文字出力の説明 31-16
- PortFast
 - イネーブル化 17-10
 - サポート 1-5
 - 説明 17-2
 - モード、スパニングツリー 12-30
- PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 15-11
 - サポートされるインスタンス 15-10
 - 説明 15-9
- Q
- QoS
 - IP Phone
 - 検出および信頼設定 29-19, 29-34
 - 自動分類およびキューイング 29-19
 - MQC コマンド 29-1
 - QoS ラベル、定義 29-4
 - 暗黙の拒否 29-7
 - 概要 29-2
 - 書き換え 29-18
 - 基本モデル 29-4
 - キュー
 - SRR、説明 29-12
 - WTD、説明 29-11
 - 位置 29-11
 - 出力キューの特性の設定 29-61
 - 入力キューの特性の設定 29-56
 - ハイ プライオリティ (緊急) 29-17, 29-68
 - クラス マップ
 - 設定 29-42
 - 表示 29-70
 - グローバルなイネーブル化 29-31
 - サポート 1-7
 - 自動 QoS
 - VoIP 用のイネーブル化 29-24
 - 実行コンフィギュレーションの影響 29-23
 - 出力キューのデフォルト 29-20
 - 生成コマンドの表示 29-24
 - 生成コマンドのリスト 29-21
 - 設定およびデフォルトの表示 29-27
 - 設定時の注意事項 29-23
 - 設定の表示 29-27
 - 設定例 29-25
 - 説明 29-19
 - ディセーブル化 29-24
 - トラフィックの分類 29-19
 - 入力キューのデフォルト 29-20
 - 出力インターフェイスの帯域幅の制限 29-68
 - 出力キュー
 - DSCP または CoS 値のマッピング 29-64
 - SRR の共有重みの設定 29-67
 - SRR のシェーピング重みの設定 29-66
 - WTD スレッシュホールドの設定 29-62
 - WTD、説明 29-17
 - スケジューリング、説明 29-4
 - スレッシュホールド マップの表示 29-65
 - 説明 29-4
 - バッファ スペースの割り当て 29-62
 - バッファ割り当て方式、説明 29-16
 - フローチャート 29-15
 - 信頼状態
 - 信頼におけるデバイス 29-34
 - 説明 29-5
 - ドメイン内 29-32
 - 別のドメインとの境界 29-36
 - 設定
 - DSCP マップ 29-51
 - IP 拡張 ACL 29-39
 - IP 標準 ACL 29-38
 - MAC ACL 29-41
 - 自動 QoS 29-19
 - 集約ポリサー 29-48
 - 出力キューの特性 29-61
 - 信頼境界機能 29-34
 - デフォルトのポート CoS 値 29-33
 - ドメイン内のポートの信頼状態 29-32
 - トランスペアレントな DSCP 29-36
 - 入力キューの特性 29-56
 - 物理ポートのポリシー マップ 29-44
 - 別のドメインとの境界の DSCP 信頼状態 29-36
 - 設定時の注意事項
 - 自動 QoS 29-23
 - 標準 QoS 29-30
 - デフォルトの自動設定 29-19

- デフォルトの標準設定 29-28
 - 統計情報の表示 29-70
 - トランスペアレントな DSCP 29-36
 - 入力キュー
 - DSCP または CoS 値のマッピング 29-57
 - SRR の共有重みの設定 29-59
 - WTD スレッシュホールドの設定 29-57
 - WTD、説明 29-14
 - スケジューリング、説明 29-4
 - スレッシュホールド マップの表示 29-58
 - 説明 29-4
 - 帯域幅の割り当て 29-59
 - バッファ スペースの割り当て 29-58
 - バッファおよび帯域幅の割り当て、説明 29-14
 - プライオリティ キューの設定 29-60
 - プライオリティ キュー、説明 29-14
 - フローチャート 29-13
 - パケットの変更 29-18
 - フローチャート
 - 出力ポートのキューイングおよびスケジューリング 29-15
 - 入力ポートのキューイングおよびスケジューリング 29-13
 - 分類 29-6
 - ポリシングおよびマーキング 29-10
 - 分類
 - DSCP の信頼状態、説明 29-5
 - IP ACL、説明 29-5, 29-7
 - IP precedence の信頼状態、説明 29-5
 - IP トラフィックのオプション 29-5
 - MAC ACL、説明 29-5, 29-7
 - クラス マップ、説明 29-7
 - 信頼性のある CoS 値、説明 29-5
 - 定義 29-4
 - 転送処理 29-3
 - トランスペアレントな DSCP、説明 29-36
 - 非 IP トラフィックのオプション 29-5
 - フレームおよびパケット 29-3
 - フローチャート 29-6
 - ポリシー マップ、説明 29-7
 - ポリサー
 - 数 29-30
 - 設定 29-47, 29-48
 - 説明 29-8
 - タイプ 29-9
 - 表示 29-70
 - ポリシー マップ
 - 特性 29-44
 - 表示 29-70
 - 物理ポートの非階層型 29-44
 - ポリシー、インターフェイスへの結合 29-8
 - ポリシング
 - 説明 29-4, 29-8
 - トークンバケット アルゴリズム 29-9
 - マーキング、説明 29-4, 29-8
 - マークダウン アクション 29-47
 - マッピング テーブル
 - CoS/DSCP 29-51
 - DSCP/CoS 29-54
 - DSCP/DSCP 変換 29-55
 - IP precedence/DSCP 29-52
 - タイプ 29-10
 - 表示 29-70
 - ポリシング済み DSCP 29-53
 - QoS の CoS 出力キュー スレッシュホールド マップ 29-17
 - QoS の CoS 入力キュー スレッシュホールド マップ 29-14
 - QoS の DSCP 出力キュー スレッシュホールド マップ 29-17
 - QoS の DSCP 入力キュー スレッシュホールド マップ 29-14
 - QoS の IP precedence/DSCP マップ 29-52
 - QoS の緊急キュー 29-68
 - QoS のポリシング済み DSCP マップ 29-53
 - QoS 用信頼境界機能 29-34
- ## R
- RADIUS
 - AAA サーバグループの定義 8-27
 - 概要 8-20
 - クラスタ 5-13
 - サーバの識別 8-22
 - サポート 1-7
 - 推奨するネットワーク環境 8-20
 - 設定
 - アカウンティング 8-30
 - 許可 8-29
 - 通信、グローバル 8-23, 8-31
 - 通信、サーバ単位 8-22, 8-23
 - 認証 8-25
 - 複数の UDP ポート 8-23

- 設定の表示 8-33
- 属性
 - ベンダー固有 8-31
 - ベンダー独自仕様 8-33
- デフォルト設定 8-22
- 動作 8-21
- 方式リスト、定義 8-22
- ユーザがアクセスしたサービスの追跡 8-30
- ユーザへのサービスの制限 8-29
- Rapid Per-VLAN Spanning-Tree Plus (PVST+)
 - Rapid PVST+ を参照
- Rapid PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 15-11
 - サポートされるインスタンス 15-10
 - 説明 15-9
- Rapid Spanning-Tree Protocol
 - RSTP を参照
- rcommand コマンド 5-14
- RCP
 - イメージファイル
 - アップロード B-34
 - 準備、サーバ B-31
 - ダウンロード B-32
 - 古いイメージの削除 B-34
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-19
 - 概要 B-17
 - 準備、サーバ B-17
 - ダウンロード B-18
- Remote Authentication Dial-In User Service
 - RADIUS を参照
- Remote Copy Protocol
 - RCP を参照
- Remote Network Monitoring
 - RMON を参照
- RFC
 - 1112、IP マルチキャストおよび IGMP 20-2
 - 1157、SNMPv1 27-2
 - 1305、NTP 6-2
 - 1757、RMON 25-2
 - 1901、SNMPv2C 27-2
 - 1902～1907、SNMPv2 27-2
 - 2236、IP マルチキャストおよび IGMP 20-2
 - 2273～2275、SNMPv3 27-2
- RMON
 - アラームおよびイベントのイネーブル化 25-3
 - 概要 25-2
 - サポート 1-8
 - サポート対象グループ 25-2
 - ステータスの表示 25-6
 - デフォルト設定 25-3
 - 統計
 - イーサネット グループの収集 25-5
 - グループ ヒストリの収集 25-5
- RSPAN 23-3
 - VLAN ベース 23-6
 - 宛先ポート 23-7
 - 概要 1-8, 23-2
 - 受信トラフィック 23-5
 - ステータスの表示 23-25
 - セッション
 - SPAN 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 23-24
 - 作成 23-18
 - 定義 23-4
 - 入力トラフィックのイネーブル化 23-22
 - モニタ対象ポートの指定 23-18
 - 設定時の注意事項 23-18
 - 送信トラフィック 23-5
 - 送信元ポート 23-6
 - 他の機能との相互作用 23-8
 - デフォルト設定 23-10
 - 特性 23-8
 - モニタ側ポート 23-7
 - モニタ対象ポート 23-6
- RSTP
 - BPDU
 - 処理 16-13
 - フォーマット 16-12
 - IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 16-26
 - 説明 16-8
 - トポロジーの変更 16-13
 - MSTP も参照
 - アクティブ トポロジー 16-9
 - 概要 16-9
 - 高速コンバージェンス
 - エッジポートおよび PortFast 16-10
 - 説明 16-10
 - ポイントツーポイント リンク 16-10, 16-25

- ルートポート 16-10
- 指定スイッチ、定義 16-9
- 指定ポート、定義 16-9
- 提案 / 合意ハンドシェイク プロセス 16-10
- ポートの役割
 - 説明 16-9
 - 同期化 16-11
- ルートポート、定義 16-9

- S**
- SC (スタンバイ コマンド スイッチ) 5-9
- SDM
 - 説明 7-1
 - テンプレート
 - 数 7-2
 - 設定 7-3
- SDM テンプレート
 - 設定 7-3
 - 設定時の注意事項 7-3
 - タイプ 7-2
- Secure Shell
 - SSH を参照
- Secure Socket Layer
 - SSL を参照
- set-request 動作 27-5
- SFP
 - ステータスのモニタ 10-22, 31-15
 - ステータス、表示 31-15
 - セキュリティおよび ID 31-15
- Shaped Round Robin
 - SRR を参照
- show access-lists hardware counters コマンド 28-19
- show cdp traffic コマンド 22-6
- show cluster members コマンド 5-14
- show configuration コマンド 10-18
- show interfaces コマンド 10-15, 10-18
- show platform forward コマンド 31-25
- show running-config コマンド
 - ACL の表示 28-18
 - インターフェイスの記述の追加 10-18
- show および more コマンド出力のフィルタリング 2-11
- Simple Network Management Protocol
 - SNMP を参照
- SmartPort マクロ
 - Web サイト 11-2
 - グローバルパラメータ値の適用 11-5, 11-7
 - 作成 11-4
 - シスコのデフォルト マクロ 11-7
 - 設定時の注意事項 11-3
 - 定義 11-2
 - デフォルト設定 11-3
 - トレース 11-3
 - パラメータ値の適用 11-6, 11-7
 - 表示 11-9
 - マクロの適用 11-5
- SNAP 22-2
- SNMP
 - ifIndex 値 27-6
 - MIB
 - 位置 A-4
 - サポート A-1
 - MIB 変数のアクセス 27-5
 - NMS に送信される Syslog メッセージの制限 26-10
 - TFTP サーバによるアクセスの制限 27-15
 - エージェント
 - 説明 27-4
 - ディセーブル化 27-8
 - エンジン ID 27-8
 - 概要 27-2, 27-5
 - クラスタ 5-12
 - クラスタの管理 5-15
 - グループ 27-7, 27-10
 - コミュニティ ストリング
 - 概要 27-4
 - クラスタ スイッチ 27-4
 - 設定 27-8
 - サポート対象のバージョン 27-2
 - システム コンタクトおよびロケーション 27-15
 - 情報
 - traps キーワード 27-12
 - イネーブル化 27-14
 - 説明 27-5
 - ディセーブル化 27-15
 - トラップとの相違 27-6
 - ステータス、表示 27-18
 - セキュリティ レベル 27-3
 - 設定例 27-16
 - 帯域内管理 1-5

- 通知 27-5
- デフォルト設定 27-7
- トラップ
 - MAC アドレス通知のイネーブル化 6-23
 - イネーブル化 27-12
 - 概要 27-2, 27-5
 - 情報との相違 27-6
 - 説明 27-4, 27-5
 - タイプ 27-12
 - ディセーブル化 27-15
 - トラップ マネージャ、設定 27-13
- 認証レベル 27-10
- ホスト 27-7
- マネージャ機能 1-4, 27-4
- ユーザ 27-7, 27-10
- SNMPv1 27-3
- SNMPv2C 27-3
- SNMPv3 27-3
- SPAN
 - VLAN ベース 23-6
 - 宛先ポート 23-7
 - 概要 1-8, 23-2
 - 受信トラフィック 23-5
 - ステータスの表示 23-25
 - セッション
 - SPAN 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 23-16
 - 宛先ポートの削除 23-13
 - 作成 23-11
 - 定義 23-4
 - 入力転送の設定 23-15, 23-23
 - 入力トラフィックのイネーブル化 23-14
 - モニタ対象ポートの指定 23-11
 - 設定時の注意事項 23-10
 - 送信トラフィック 23-5
 - 送信元ポート 23-6
 - 他の機能との相互作用 23-8
 - デフォルト設定 23-10
 - ポート、制約 21-11
 - モニタ側ポート 23-7
 - モニタ対象ポート 23-6
- SPAN トラフィック 23-5
- SRR
 - 共有モード 29-12
 - サポート 1-8
 - シェーピングモード 29-12
 - 設定
 - 出力キューでのシェーピング重み 29-66
 - 出力キューの共有重み 29-67
 - 入力キューの共有重み 29-59
 - 説明 29-12
- SSH
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-35
 - 暗号化方式 8-35
 - 設定 8-36
 - 説明 1-5, 8-35
 - ユーザ認証方式、サポートされている 8-35
- SSL
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-40
 - セキュア HTTP クライアントの設定 8-45
 - セキュア HTTP サーバの設定 8-44
 - 設定時の注意事項 8-43
 - 説明 8-40
 - モニタ 8-46
- SSL を使用した HTTP
 - HTTPS を参照
- STP
 - BackboneFast
 - イネーブル化 17-15
 - 説明 17-6
 - ディセーブル化 17-15
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 17-12
 - 説明 17-3
 - ディセーブル化 17-12
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 17-13
 - 説明 17-3
 - ディセーブル化 17-13
 - BPDU メッセージ交換 15-3
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 17-15
 - 説明 17-8
 - ディセーブル化 17-15
 - IEEE 802.1D およびブリッジ ID 15-4
 - IEEE 802.1D およびマルチキャストアドレス 15-9
 - IEEE 802.1Q トランクに関する制限事項 15-11
 - IEEE 802.1t および VLAN ID 15-4
 - PortFast
 - イネーブル化 17-10
 - 説明 17-2

- PortFast 対応ポートのシャットダウン 17-3
 - UplinkFast
 - イネーブル化 17-14
 - 説明 17-4
 - インターフェイス ステート
 - 概要 15-5
 - ディセーブル 15-7
 - フォワーディング 15-6, 15-7
 - ブロッキング 15-6
 - ラーニング 15-7
 - リスニング 15-6
 - インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 17-2
 - オプション機能のデフォルト設定 17-10
 - 下位 BPDU 15-3
 - 概要 15-2
 - カウンタ、クリア 15-24
 - 拡張システム ID
 - 異常動作 15-16
 - 概要 15-4
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 15-17
 - ルート スイッチへの影響 15-15
 - 間接リンク障害の検出 17-6
 - サポートされている機能 1-5
 - サポートされるインスタンス 15-10
 - サポートされるオプション機能 1-5
 - サポートされるプロトコル 15-9
 - サポートされるモード 15-9
 - 指定スイッチ、定義 15-4
 - 指定ポート、定義 15-4
 - 冗長接続 15-8
 - ステータス、表示 15-24
 - 設定
 - Hello タイム 15-21
 - 最大エージング タイム 15-22
 - スイッチ プライオリティ 15-20
 - スパニングツリー モード 15-14
 - セカンダリ ルート スイッチ 15-17
 - 転送遅延時間 15-22
 - 転送保留カウンタ 15-23
 - パス コスト 15-19
 - ポート プライオリティ 15-18
 - ルート スイッチ 15-15
 - 設定時の注意事項 15-13, 17-10
 - タイマー、説明 15-21
 - ディセーブル化 15-15
 - デフォルト設定 15-12
 - パス コスト 12-27, 12-28
 - 負荷分散
 - 概要 12-25
 - パス コストの使用 12-27
 - ポート プライオリティの使用 12-25
 - ポート プライオリティ 12-26
 - マルチキャスト アドレス、作用 15-9
 - モード間のインターオペラビリティと下位互換性
15-10
 - 優位 BPDU 15-3
 - ルート ガード
 - イネーブル化 17-16
 - 説明 17-8
 - ルート スイッチとしての選択防止 17-8
 - ルート ポート選択の高速化 17-4
 - ルート ポート、定義 15-4
 - ルート スイッチ
 - 異常動作 15-16
 - 拡張システム ID の影響 15-4, 15-15
 - 設定 15-15
 - 選定 15-3
 - ループ ガード
 - イネーブル化 17-17
 - 説明 17-9
 - SunNet Manager 1-4
 - Switch Database Management
 - SDM を参照
 - Switched Port Analyzer
 - SPAN を参照
 - switchport block multicast コマンド 21-7
 - switchport block unicast コマンド 21-7
 - switchport protected コマンド 21-6
 - Syslog
 - システム メッセージ ロギングを参照
- ## T
- TACACS+
 - アカウンティング、定義 8-13
 - 概要 8-12
 - 許可、定義 8-13
 - クラスタ 5-13
 - サーバの識別 8-15
 - サポート 1-7

- 設定
 - アカウントティング 8-19
 - 許可 8-18
 - 認証鍵 8-15
 - ログイン認証 8-16
- 設定の表示 8-19
- デフォルト設定 8-15
- 動作 8-14
- 認証、定義 8-13
- ユーザがアクセスしたサービスの追跡 8-19
- ユーザへのサービスの制限 8-18
- tar ファイル
 - イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-8
 - 内容表示 B-7
- TDR 1-8
- Telnet
 - 管理インターフェイスのアクセス 2-12
 - 接続数 1-5
 - パスワードの設定 8-7
- Terminal Access Controller Access Control System Plus
 - TACACS+ を参照
- TFTP
 - イメージファイル
 - アップロード B-25
 - 削除 B-25
 - 準備、サーバ B-23
 - ダウンロード B-24
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-13
 - 準備、サーバ B-11
 - ダウンロード B-12
 - サーバによるアクセスの制限 27-15
 - 自動設定の場合 3-6
 - ベースディレクトリのコンフィギュレーションファイル 3-6
- TFTP サーバ 1-4
- Time Domain Reflector
 - TDR を参照
- time-range コマンド 28-15
- ToS 1-7
- traceroute コマンド 31-20
 - IP traceroute も参照
- traceroute、レイヤ 2
 - 1 ポートに複数のデバイス 31-19
- ARP 31-18
- CDP 31-18
- IP アドレスとサブネット 31-18
- MAC アドレスと VLAN 31-18
- 使用時の注意事項 31-18
- 説明 31-18
- ブロードキャストトラフィック 31-18
- マルチキャストトラフィック 31-18
- ユニキャストトラフィック 31-18
- U
- UDLD
 - イネーブル化
 - インターフェイス単位 24-6
 - グローバル 24-5
 - インターフェイスのリセット 24-6
 - エコーによる検出メカニズム 24-3
 - 概要 24-2
 - サポート 1-5
 - ステータス、表示 24-7
 - 設定時の注意事項 24-5
 - ディセーブル化
 - インターフェイス単位 24-6
 - グローバル 24-5
 - 光ファイバインターフェイス 24-5
 - デフォルト設定 24-4
 - ネイバデータベース 24-3
 - リンク検出メカニズム 24-2
- UDLD によってディセーブルにされたインターフェイスのリセット 24-6
- UniDirectional Link Detection プロトコル
 - UDLD を参照
- UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 26-13
 - デーモンの設定 26-11
 - メッセージロギングの設定 26-12
- UplinkFast
 - イネーブル化 17-14
 - サポート 1-5
 - 説明 17-4
 - ディセーブル化 17-14

V

VLAN

config-vlan モードでの作成 12-9
 ID 1006 ~ 4094 の設定 12-14
 RSPAN による送信元トラフィックの制限 23-24
 SPAN による送信元トラフィックの制限 23-16
 STP および IEEE 802.1Q トランク 15-11
 VLAN コンフィギュレーション モードでの作成
 12-10
 VLAN データベースへの追加 12-9
 VTP モード 13-3
 拡張範囲 12-1, 12-14
 機能 1-6
 削除 12-11
 サポート 12-3
 サポートされる数 1-6
 図 12-2
 スタティック アクセス ポート 12-12
 スパニングツリー インスタンス 12-3, 12-7,
 12-15
 設定 12-1
 設定オプション 12-7
 設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN 12-14
 設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 12-6
 説明 10-2, 12-2
 相互間トラフィック 12-2
 ダイナミック アドレスのエージング タイム
 15-9
 追加 12-9
 デフォルト設定 12-8
 トークンリング 12-6
 トランクでの許可 VLAN 12-22
 ネイティブ、設定 12-24
 パラメータ 12-5
 表示 12-17
 標準範囲 12-1, 12-5
 変更 12-9
 ポート メンバーシップ モード 12-3
 マルチキャスト 20-19
 VLAN 1 最小化 12-22
 VLAN 1、トランク ポートでのディセーブル化
 12-22
 vlan database コマンド 12-7
 VLAN ID、検出 6-28
 VLAN Query Protocol
 VQP を参照

VLAN Trunking Protocol

VTP を参照
 VLAN 管理ドメイン 13-2
 vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド
 12-7
 VLAN コンフィギュレーション モード 2-3, 12-7
 VLAN 設定
 起動時 12-8
 保存 12-8
 VLAN データベース
 VLAN 設定、保存 12-8
 VTP 13-1
 格納された VLAN 12-5
 スタートアップ コンフィギュレーション ファイル
 12-8
 VLAN トランク 12-18
 VLAN の削除 12-11
 VLAN フィルタリング、SPAN 23-7
 VLAN マネジメント ポリシー サーバ
 VMPS を参照
 VLAN メンバーシップ
 確認 12-33
 モード 12-3
 VLAN 割り当て応答、VMPS 12-29
 vlan.dat ファイル 12-5
 VMPS
 MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-29
 管理 12-34
 サーバ アドレスの入力 12-31
 再確認インターバル、変更 12-33
 再試行回数、変更 12-33
 設定時の注意事項 12-30
 設定例 12-34
 説明 12-29
 ダイナミック ポート メンバーシップ
 再確認 12-33
 説明 12-30
 トラブルシューティング 12-34
 デフォルト設定 12-30
 メンバーシップの再確認 12-33
 モニタ 12-34
 Voice over IP 14-2
 VQP 1-6, 12-29
 VTP
 アドバタイズ 12-20, 13-4
 拡張範囲 VLAN 13-2
 クライアント モード、設定 13-12

- コンフィギュレーション リビジョン番号
 - 注意事項 13-16
 - リセット 13-17
 - コンフィギュレーション モード オプション 13-8
 - サーバモード、設定 13-11
 - サポート 1-6
 - 使用方法 13-2
 - 整合性検査 13-5
 - 設定
 - VLAN コンフィギュレーション モード 13-9
 - イネーブル EXEC モード 13-8
 - クライアント モード 13-12
 - グローバル コンフィギュレーション モード 13-8
 - サーバモード 13-11
 - 注意事項 13-9
 - トランスペアレント モード 13-13
 - 保存 13-9
 - 要件 13-10
 - 設定要件 13-10
 - 説明 13-2
 - ディセーブル化 13-13
 - デフォルト設定 13-8
 - 統計 13-18
 - トークンリング サポート 13-5
 - ドメイン 13-2
 - ドメインへのクライアントの追加 13-16
 - ドメイン名 13-9
 - トランスペアレント モード、設定 13-13
 - バージョン 1 13-5
 - バージョン 2
 - イネーブル化 13-14
 - 概要 13-5
 - 設定時の注意事項 13-10
 - ディセーブル化 13-15
 - バージョン、注意事項 13-10
 - パスワード 13-10
 - 標準範囲 VLAN 13-2
 - プルーニング
 - イネーブル化 13-15
 - 概要 13-5
 - サポート 1-6
 - ディセーブル化 13-16
 - 例 13-6
 - プルーニング適格リスト、変更 12-23
 - モード
 - クライアント 13-3, 13-12
 - サーバ 13-3, 13-11
 - トランスペアレント 13-4, 13-13
 - 変更 13-3
 - モニタ 13-18
 - VTP バージョン 2 における整合性検査 13-5
- ## W
- Weighted Tail Drop
 - WTD を参照
 - WTD
 - サポート 1-8
 - スレッシュホールドの設定
 - 出力キューセット 29-62
 - 入力キュー 29-57
 - 説明 29-11
- ## X
- XMODEM プロトコル 31-2
- ## あ
- アカウントティング
 - IEEE 802.1x 9-5, 9-27
 - RADIUS 8-30
 - TACACS+ 8-13, 8-19
 - アクセス グループ、インターフェイスへの IPv4 ACL の適用 28-18
 - アクセス ポート
 - スイッチ クラスタ 5-8
 - アクセス ポート、定義 10-3
 - アクセス リスト
 - ACL を参照
 - アクセス拒否応答、VMPS 12-29
 - アクセス制御エントリ
 - ACE を参照
 - アクセスの制限
 - NTP サービス 6-9
 - RADIUS 8-20
 - TACACS+ 8-12
 - 概要 8-2
 - パスワードおよび権限レベル 8-3

- アクセス方法
 - クラスタ スイッチ 5-11
 - クラスタ、スイッチ 5-11
 - コマンド スイッチ 5-9
 - メンバー スイッチ 5-11
- アクティブ リンク 18-2
- アップグレード情報
 - リリース ノートを参照
- アップロード
 - イメージファイル
 - FTP の使用 B-30
 - RCP の使用 B-34
 - TFTP の使用 B-25
 - 準備 B-23, B-27, B-31
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-16
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-13
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
- 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 30-7
- 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 30-7
- 宛先のアドレス、IPv4 ACL 28-9
- アドバタイズ
 - CDP 22-2
 - VTP 12-20, 13-3, 13-4
- アドレス
 - MAC アドレス テーブルの表示 6-27
 - MAC、検出 6-28
 - スタティック
 - 追加および削除 6-25
 - 定義 6-21
 - ダイナミック
 - エージング タイムの短縮 15-9
 - エージング タイムの変更 6-22
 - 削除 6-23
 - 定義 6-21
 - デフォルトのエージング タイム 15-9
 - ラーニング 6-21
 - マルチキャスト、STP アドレス管理 15-9
- アドレス エイリアス 20-2
- アドレス解決 6-28
- アベイラビリティ、機能 1-5
- アラーム、RMON 25-3
- 暗号化ソフトウェア イメージ
 - SSH 8-35
 - SSL 8-40
- 安全なリモート接続 8-35
- い
- イーサネット VLAN
 - 追加 12-9
 - デフォルトおよび範囲 12-8
 - 変更 12-9
- 一時的な自己署名証明書 8-41
- イネーブル EXEC モード 2-2
- イネーブル シークレット パスワード 8-5
- イネーブル パスワード 8-5
- イベント、RMON 25-3
- インターフェイス
 - Auto-MDIX、設定 10-17
 - カウンタ、クリア 10-23
 - 管理 1-4
 - 記述 10-18
 - 記述、追加 10-18
 - 再起動 10-23
 - サポート 10-6
 - シャットダウン 10-23
 - 情報の表示 10-22
 - ステータス 10-22
 - 設定
 - 手順 10-6
 - 設定時の注意事項
 - 速度およびデュプレックス 10-12
 - 説明 10-18
 - 速度およびデュプレックス、設定 10-15
 - タイプ 10-2
 - デフォルト設定 10-11
 - 範囲 10-7
 - 番号 10-6
 - 物理的な識別 10-6
 - フロー制御 10-16
 - モニタ 10-22
 - レンジ マクロ 10-9
- インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-3
- インターフェイス タイプ 10-6
- インターフェイスでの shutdown コマンド 10-23
- インターフェイスのクリア 10-23

う

ウィザード 1-2

え

永続的な自己署名証明書 8-41

エージング タイム

MAC アドレス テーブル 6-22

最大

MSTP 用 16-24, 16-25

STP 15-22, 15-23

短縮

MSTP 用 16-24

STP 15-9, 15-22

エージング タイム、短縮 15-9

エラー メッセージ、コマンド入力時 2-6

お

オプション、管理 1-4

音声 VLAN

Cisco 7960 IP Phone、ポート接続 14-2

IP Phone の音声トラフィック、説明 14-2

IP Phone のデータトラフィック、説明 14-3

IP Phone への接続 14-5

音声トラフィック用のポート設定

802.1p プライオリティ タグ付きフレーム
14-6

802.1Q フレーム 14-5

設定時の注意事項 14-4

説明 14-2

データトラフィック用の IP Phone の設定

着信フレームの CoS の変更 14-7

着信フレームの CoS プライオリティを信頼
14-7

デフォルト設定 14-4

表示 14-8

か

ガイドモード 1-2

外部 VLAN

音声 VLAN を参照

回復手順 31-1

カウンタのクリア、インターフェイス 10-23

拡張 crashinfo ファイル 31-27

拡張システム ID

MSTP 16-18

STP 15-4, 15-15

拡張範囲 VLAN

作成 12-15

設定 12-14

設定時の注意事項 12-14

定義 12-1

仮想 IP アドレス

クラスタ スタンバイ グループ 5-9

コマンドスイッチ 5-9

環境変数、機能 3-16

間接リンク障害の検出、STP 17-6

管理 VLAN

異なる管理 VLAN を経由した検出 5-7

スイッチ クラスタの考慮事項 5-7

管理アクセス

帯域外コンソール ポート接続 1-5

帯域内

CLI セッション 1-5

SNMP 1-5

デバイス マネージャ 1-5

ブラウザ セッション 1-5

管理オプション

CLI 2-1

CNS 4-2

Network Assistant 1-2

概要 1-4

クラスタ 1-3

管理の簡便性に関する機能 1-4

関連資料 xxxi

き

起動

起動プロセス 3-2

手動 3-14

特定のイメージ 3-15

ブート ロード、機能 3-2

機能、互換 21-11

許可

RADIUS 8-29

TACACS+ 8-13, 8-18

許可 VLAN リスト 12-22

許可ポート、IEEE 802.1x 9-4

く

- クエリー送信請求、IGMP 20-13
- クエリー、IGMP 20-4
- クライアント モード、VTP 13-3
- クラス マップ、QoS
 - 設定 29-42
 - 説明 29-7
 - 表示 29-70
- クラスタ スタンバイ グループ
 - HSRP も参照
 - 仮想 IP アドレス 5-9
 - 考慮事項 5-10
 - 自動回復 5-11
 - 定義 5-2
 - 要件 5-3
- クラスタ要件 xxxi
- クラスタ、スイッチ
 - LRE プロファイルの考慮事項 5-13
 - アクセス方法 5-11
 - 管理
 - CLI の使用 5-14
 - SNMP の使用 5-15
 - 機能 1-2
 - 候補スイッチ、コマンドスイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、メンバー スイッチ、およびスタンバイ コマンドスイッチも参照
 - 互換 5-4
 - 自動回復 5-8
 - 自動検出 5-4
 - 説明 5-1
 - プランニング 5-4
 - プランニングの考慮事項
 - CLI 5-14
 - IP アドレス 5-11
 - LRE プロファイル 5-13
 - RADIUS 5-13
 - SNMP 5-12, 5-15
 - TACACS+ 5-13
 - 自動回復 5-8
 - 自動検出 5-4
 - パスワード 5-12
 - ホスト名 5-12
- グローバル Leave、IGMP 20-13
- グローバル コンフィギュレーション モード 2-2
- クロック
 - システム クロックを参照

け

- ケーブル、単一方向リンクのモニタ 24-2
 - ゲスト VLAN と IEEE 802.1x 9-10
 - 権限レベル
 - 回線に対するデフォルトの変更 8-11
 - 概要 8-3, 8-9
 - コマンド スイッチ 5-14
 - コマンドの設定 8-10
 - 終了 8-11
 - メンバー スイッチとの対応 5-14
 - ログイン 8-11
 - 検出、クラスタ
 - 自動検出を参照
- こ
- 構成の矛盾、メンバー スイッチとの接続の回復 31-14
 - 構成例、ネットワーク 1-12
 - 高速コンバージェンス 16-10
 - 候補スイッチ
 - コマンド スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびメンバー スイッチも参照
 - 自動検出 5-4
 - 定義 5-3
 - 要件 5-3
 - 互換、機能 21-11
 - コマンド
 - no および default 2-5
 - 省略 2-5
 - コマンド スイッチ
 - アクセス方法 5-9
 - アクティブ (AC) 5-9
 - 回復
 - コマンド スイッチの障害 5-9, 31-9
 - メンバー スイッチとの接続 31-14
 - 交換
 - クラスタ メンバー 31-9
 - 他のスイッチ 31-11
 - 構成の矛盾 31-14
 - 候補スイッチ、コマンドスイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびメンバー スイッチも参照
 - 冗長 5-8
 - スタンバイ (SC) 5-9
 - 定義 5-2

パスワード権限レベル 5-14
 パッシブ (PC) 5-9
 プライオリティ 5-9
 要件 5-3
 コマンド モード 2-2
 コマンドの権限レベルの設定 8-10
 コマンドの省略 2-5
 コマンドライン インターフェイス
 CLI を参照
 コミュニティ スtring
 SNMP 5-12
 概要 27-4
 クラスタ 5-12
 クラスタ スイッチ 27-4
 設定 5-12, 27-8
 コンソール ポート、接続 2-12
 コンフィギュレーション ファイル
 DHCP による入手 3-8
 TFTP サーバ アクセスの制限 27-15
 アップロード
 FTP の使用 B-16
 RCP の使用 B-19
 TFTP の使用 B-13
 準備 B-11, B-14, B-17
 目的 B-9
 格納されたコンフィギュレーションの削除
 B-20
 コピー時の無効な組み合わせ B-5
 作成および使用上の注意事項 B-10
 システム コンタクトおよびロケーション 27-15
 スタートアップ コンフィギュレーションの消去
 B-20
 説明 B-9
 タイプおよび場所 B-10
 ダウンロード
 FTP の使用 B-14
 RCP の使用 B-18
 TFTP の使用 B-12
 自動 3-13
 準備 B-11, B-14, B-17
 目的 B-9
 テキスト エディタによる作成 B-11
 デフォルトの名前 3-13
 パスワード回復をディセーブルにする場合の考慮
 事項 8-6
 ファイル名の指定 3-14
 コンフィギュレーション ロギング 2-6

さ

サーバ モード、VTP 13-3
 サービス クラス
 CoS を参照
 サービス タイプ
 ToS を参照
 サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および
 RSTP 16-1
 サービス品質
 QoS を参照
 再確認インターバル、VMPS、変更 12-33
 再試行回数、VMPS、変更 12-33
 最大エージング タイム
 MSTP 16-24
 STP 15-22
 最大ホップ カウント、MSTP 16-25
 最適化、システム リソース 7-2

し

時間範囲、ACL 28-15
 時刻
 NTP およびシステム クロックを参照
 システム クロック
 NTP も参照
 概要 6-2
 設定
 手動 6-12
 タイム ゾーン 6-13
 夏時間 6-14
 日時の表示 6-13
 システム プロンプト、デフォルト設定 6-16
 システム メッセージ ロギング
 level キーワード、説明 26-10
 Syslog 機能 1-8
 UNIX Syslog サーバ
 サポートされているファシリティ 26-13
 デーモンの設定 26-11
 ロギング ファシリティの設定 26-12
 イネーブル化 26-5
 エラー メッセージの重大度の定義 26-9
 概要 26-2
 シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル
 化 26-8
 設定の表示 26-13

- タイムスタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 26-8
 - ディセーブル化 26-4
 - デフォルト設定 26-4
 - 表示宛先装置の設定 26-5
 - ファシリティ キーワード、説明 26-13
 - メッセージフォーマット 26-3
 - メッセージの制限 26-10
 - ログメッセージの同期化 26-6
 - システムリソースの最適化 7-2
 - システム名
 - DNS も参照
 - 手動設定 6-16
 - デフォルト設定 6-16
 - 実行コンフィギュレーション、保存 3-12
 - 自動 QoS
 - QoS を参照
 - 自動回復、クラスタ 5-8
 - HSRP も参照
 - 自動検出
 - CDP も参照
 - 考慮事項
 - CDP 非対応装置 5-5
 - 新しいスイッチ 5-8
 - 管理 VLAN 5-7
 - クラスタ非対応装置 5-5
 - 異なる VLAN 5-6
 - 接続 5-4
 - 非候補装置を超えて 5-7
 - スイッチ クラスタ 5-4
 - 自動検知、ポート速度 1-3
 - 自動設定 3-3
 - 自動ネゴシエーション
 - インターフェイス設定時の注意事項 10-13
 - デュプレックス モード 1-3
 - 不一致 31-14
 - 重大度、システム メッセージの定義 26-9
 - 集約ポート
 - EtherChannel を参照
 - 集約ポリサー 29-48
 - 集約ポリシング 1-8
 - 照合、IPv4 ACL 28-5
 - 冗長性
 - EtherChannel 30-3
 - STP
 - パス コスト 12-27
 - バックボーン 15-8
 - ポート プライオリティ 12-25
 - 冗長リンクおよび UplinkFast 17-14
 - 初期設定
 - Express Setup 1-2
 - 『Getting Started Guide』およびハードウェア インストール ショートガイドも参照
 - デフォルト値 1-9
 - 侵入検知システム
 - IDS 装置を参照
 - 信頼性のあるタイム ソース、説明 6-2
- ## す
- スイッチ ソフトウェアの機能 1-2
 - スイッチ プライオリティ
 - MSTP 16-22
 - STP 15-20
 - スイッチ ポート 10-3
 - スイッチのクラスタ化テクノロジー 5-1
 - クラスタ、スイッチも参照
 - スイッチのコンソール ポート 1-5
 - スタートアップ コンフィギュレーション
 - 起動
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - 起動のデフォルト設定 3-13
 - コンフィギュレーション ファイル
 - 自動ダウンロード 3-13
 - ファイル名の指定 3-14
 - 消去 B-20
 - スタティック MAC アドレッシング 1-6
 - スタティック VLAN メンバーシップ 12-2
 - スタティック アクセス ポート
 - VLAN への割り当て 12-12
 - 定義 10-3, 12-3
 - スタティック アドレス
 - アドレスを参照
 - スタンバイ グループ、クラスタ
 - クラスタ スタンバイ グループ、および HSRP を参照
 - スタンバイ コマンド スイッチ
 - 仮想 IP アドレス 5-9
 - クラスタ スタンバイ グループ、および HSRP も参照
 - 考慮事項 5-10

定義 5-2
 プライオリティ 5-9
 要件 5-3
 スタンバイ リンク 18-2
 スティックリーニング 21-9
 ストーム制御
 サポート 1-3
 スレッシュホールド 21-2
 設定 21-3
 説明 21-2
 ディセーブル化 21-5
 表示 21-19
 ストラタム、NTP 6-3
 スヌーピング、IGMP 20-2
 スパニングツリー プロトコル
 STP を参照
 スパニングツリーおよびネイティブ VLAN 12-19
 スレッシュホールド、トラフィック レベル 21-2

せ

制限 VLAN
 IEEE 802.1x の使用 9-10
 設定 9-25
 説明 9-10
 成功応答、VMPS 12-29
 セキュア HTTP クライアント
 設定 8-45
 表示 8-46
 セキュア HTTP サーバ 8-40
 設定 8-44
 表示 8-46
 セキュア MAC アドレス
 最大数 21-9
 削除 21-16
 タイプ 21-9
 セキュア ポート、設定 21-8
 セキュリティ機能 1-6
 セキュリティ、ポート 21-8
 設計例、ネットワーク 1-12
 接続障害 31-16, 31-18, 31-20
 接続、安全なリモート 8-35
 設定、保存 3-12
 セットアップ プログラム
 故障したコマンド スイッチの交換 31-9, 31-11

そ

送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 30-7
 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 30-7
 送信元 / 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 30-7
 送信元 / 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 30-7
 送信元のアドレス、IPv4 ACL 28-9
 装置検出プロトコル 22-2
 即時脱退、IGMP 20-5
 属性、RADIUS
 バンダー固有 8-31
 バンダー独自仕様 8-33
 ソフトウェア イメージ
 tar ファイル形式、説明 B-22
 回復手順 31-2
 ダウンロードおよびアップロードも参照
 フラッシュ内の場所 B-21
 リロードのスケジュール設定 3-18
 ソフトウェア イメージのアップグレード
 ダウンロードを参照
 ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 31-2

た

対象読者 xxix
 ダイナミック VLAN メンバーシップの再確認 12-33
 ダイナミック アドレス
 アドレスを参照
 ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ
 再確認 12-33
 接続のタイプ 12-32
 説明 12-30
 トラブルシューティング 12-34
 ダイナミックアクセス ポート
 設定 12-32
 定義 10-3
 特性 12-4
 タイムゾーン 6-13
 ダウンロード
 イメージファイル
 CMS の使用 1-2
 FTP の使用 B-28
 HTTP の使用 1-2, B-21
 RCP の使用 B-32
 TFTP の使用 B-24

- 準備 B-23, B-27, B-31
- デバイス マネージャまたは Network Assistant を使用 B-21
- 古いイメージの削除 B-25
- 目的 B-21
- コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
- 脱退タイマーの設定、IGMP 20-6
- 端末回線、パスワードの設定 8-7

- ち
- 注意、説明 xxx
- 注、説明 xxx

- つ
- ツイストペア イーサネット、単一方向リンクの検出 24-2

- て
- ディレクトリ
 - 作業ディレクトリの表示 B-4
 - 作成および削除 B-4
 - 変更 B-4
- デバイス マネージャ
 - 機能 1-2
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-2, 1-4
 - 帯域内管理 1-5
 - 要件 xxxi
- デバッグ
 - エラー メッセージ出力のリダイレクト 31-24
 - コマンドの使用法 31-23
 - システム全体診断のイネーブル化 31-24
 - 特定機能に関するイネーブル化 31-23
- デフォルト ゲートウェイ 3-11
- デフォルト設定
 - CDP 22-3
 - DHCP 19-8
 - DHCP Option 82 19-8
 - DHCP スヌーピング 19-8
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 19-8
 - DNS 6-17
 - EtherChannel 30-9
 - Flex Link 18-5
 - IEEE 802.1x 9-13
 - IGMP スヌーピング 20-7
 - IGMP スロットリング 20-28
 - IGMP フィルタリング 20-28
 - MAC アドレス テーブル 6-22
 - MAC アドレス テーブル移行更新 18-5
 - MSTP 16-15
 - MVR 20-22
 - NTP 6-5
 - RADIUS 8-22
 - RMON 25-3
 - RSPAN 23-10
 - SDM テンプレート 7-3
 - SNMP 27-7
 - SPAN 23-10
 - SSL 8-42
 - STP 15-12
 - TACACS+ 8-15
 - UDLD 24-4
 - VLAN 12-8
 - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 12-20
 - VMPS 12-30
 - VTP 13-8
 - イーサネット インターフェイス 10-11
 - オプションのスパニングツリー設定 17-10
 - 音声 VLAN 14-4
 - 起動 3-13
 - システム メッセージ ロギング 26-4
 - システム名およびプロンプト 6-16
 - 自動 QoS 29-19
 - 初期スイッチ情報 3-3
 - パスワードおよび権限レベル 8-3
 - バナー 6-19
 - 標準 QoS 29-28
 - レイヤ 2 インターフェイス 10-11
- 転送遅延時間
 - MSTP 16-24
 - STP 15-22
- 転送保留カウンタ
 - STP を参照

- 転送、ユニキャスト要求 1-4
- テンプレート、SDM 7-2
- と
- 統計
 - CDP 22-6
 - IEEE 802.1x 9-29
 - QoS 入出力 29-70
 - RMON イーサネット グループ 25-5
 - RMON グループ ヒストリ 25-5
 - SNMP 入出力 27-18
 - VTP 13-18
 - インターフェイス 10-22
- トークンリング VLAN
 - VTP サポート 13-5
 - サポート 12-6
- ドメイン ネーム システム
 - DNS を参照
- ドメイン名
 - DNS 6-17
 - VTP 13-9
- トラップ
 - MAC アドレス通知の設定 6-23
 - イネーブル化 6-23, 27-12
 - 概要 27-2, 27-5
 - 通知タイプ 27-12
 - 定義 27-4
 - マネージャの設定 27-12
- トラップドア メカニズム 3-2
- トラフィック
 - 非分割 28-4
 - フラッディングのブロッキング 21-7
 - 分割 28-4
- トラフィック ポリシング 1-7
- トラフィックの優先処理
 - QoS を参照
- トラフィックの抑制 21-2
- トラブルシューティング
 - CiscoWorks 27-5
 - debug コマンド 31-23
 - ping の使用 31-16
 - SFP のセキュリティおよび ID 31-15
 - show platform forward コマンド 31-25
 - traceroute 31-20
 - システム メッセージ ロギング 26-2
 - 障害 (クラッシュ) 情報の表示 31-27
 - 接続障害 31-16, 31-18, 31-20
 - 単一方向リンクの検出 24-1
 - パケット転送の設定 31-25
 - トランキング カプセル化 1-6
 - トランク
 - DTP をサポートしない装置 12-18
 - 許可 VLAN リスト 12-22
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-24
 - パラレル 12-27
 - 負荷分散
 - STP パス コストの設定 12-27
 - STP ポート プライオリティの使用 12-25, 12-26
 - プルーニング適格リスト 12-23
 - トランク ポート
 - 設定 12-21
 - 定義 10-3, 12-3
 - トランスペアレント モード、VTP 13-4, 13-13
 - トランスペアレントな DSCP 29-36
- な
- 夏時間 6-14
- 名前付き IPv4 ACL 28-13
- に
- 二重目的アップリンク
 - タイプの設定 10-13
 - 定義 10-4
- 認識不能な Type-Length-Value (TLV) のサポート 13-5
- 認証
 - NTP アソシエーション 6-5
 - RADIUS
 - 鍵 8-23
 - ログイン 8-25
 - TACACS+
 - 鍵 8-15
 - 定義 8-13
 - ログイン 8-16
 - ポート ベース認証も参照
 - ローカル モードでの AAA の実装 8-34

- 認証失敗 VLAN
 - 制限 VLAN を参照

- ね

- ネイティブ VLAN
 - 設定 12-24
 - デフォルト 12-24
- ネットワーク管理
 - CDP 22-2
 - RMON 25-1
 - SNMP 27-1
- ネットワークの構成例
 - サーバ集約および Linux サーバ クラスタ 1-15
 - 中小規模ネットワーク 1-16
 - 長距離高帯域トランスポート 1-18
 - ネットワーク サービスの提供 1-12
 - ネットワーク パフォーマンスの向上 1-12
- ネットワークの設計
 - サービス 1-12
 - パフォーマンス 1-12

- は

- バージョン依存型トランスペアレント モード 13-5
- バインディング
 - DHCP スヌーピング データベース 19-6
- バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- パケットの変更、QoS 29-18
- パス コスト
 - MSTP 16-21
 - STP 15-19
- パスワード
 - VTP ドメイン 13-10
 - 暗号化 8-5
 - 回復 31-4
 - 回復のディセーブル化 8-6
 - 概要 8-2
 - クラスタ 5-12
 - セキュリティ用 1-6
- 設定
 - Telnet 8-7
 - イネーブル 8-4
 - イネーブル シークレット 8-5
 - ユーザ名 8-8
 - デフォルト設定 8-3
 - パスワードの暗号化 8-5
 - バックアップ インターフェイス
 - Flex Link を参照
 - バックアップ リンク 18-2
 - バナー
 - 設定
 - MoTD ログイン 6-19
 - ログイン 6-20
 - デフォルト設定 6-19
 - 表示の時期 6-19
 - バナーを使用してユーザにメッセージ 6-19
 - パフォーマンス向上機能 1-3
 - パフォーマンス、ネットワークの設計 1-12
 - 範囲
 - インターフェイス 10-7
 - マクロ 10-9

- ひ

- 非 IP トラフィックのフィルタリング 28-22
- 非階層型ポリシー マップ
 - 設定 29-44
 - 説明 29-9
- 光ファイバ、単一方向リンクの検出 24-2
- ヒストリ
 - コマンドの再呼び出し 2-7
 - 説明 2-7
 - ディセーブル化 2-8
 - バッファ サイズの変更 2-7
- ヒストリ テーブル、Syslog メッセージの重大度および数 26-10
- 非トランッキング モード 12-18
- 表記法 xxx
 - コマンド xxx
 - 書体 xxx
 - マニュアル xxx
 - 例 xxx
- 標準範囲 VLAN 12-5
 - コンフィギュレーション モード 12-7
 - 設定 12-5

- 設定時の注意事項 12-6
- 定義 12-1
- ふ**
- ファイル
 - crashinfo
 - 説明 31-27
 - tar
 - イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-8
 - 内容表示 B-7
 - 拡張 crashinfo
 - 説明 31-27
 - 保管場所 31-27
 - 基本 crashinfo
 - 説明 31-27
 - 保管場所 31-27
 - コピー B-5
 - 削除 B-6
 - 内容表示 B-8
- ファイル システム
 - 使用可能なファイル システムの表示 B-2
 - デフォルトの設定 B-3
 - ネットワーク ファイル システム名 B-5
 - ファイル情報の表示 B-3
 - ローカル ファイル システム名 B-2
- 不一致、自動ネゴシエーション 31-14
- フィルタリング
 - show および more コマンドの出力 2-11
 - 非 IP トラフィック 28-22
- フィルタリング、show および more コマンド出力 2-11
- フィルタ、IP
 - ACL、IP を参照
- ブート ローダ
 - アクセス方法 3-16
 - 環境変数 3-16
 - 説明 3-2
 - トラップドア メカニズム 3-2
 - プロンプト 3-16
- 不正アクセスの防止 8-2
- 物理ポート 10-3
- 不適合マークダウン 1-8
- プライオリティ
 - CoS の信頼 14-7
 - CoS の変更 14-7
- プライベート VLAN エッジ ポート
 - 保護ポートを参照
- プライマリ リンク 18-2
- フラッシュ デバイス、数 B-2
- フラッディング トラフィック、ブロッキング 21-7
- プルーニング適格リスト
 - VLAN 13-16
 - VTP プルーニング 13-5
 - 変更 12-23
- プルーニング、VTP
 - イネーブル化
 - VTP ドメイン 13-15
 - ポート上 12-23
 - 概要 13-5
 - ディセーブル化
 - VTP ドメイン 13-16
 - ポート上 12-24
 - 例 13-6
- フロー制御
 - 設定 10-16
 - 説明 10-16
- フローチャート
 - QoS 出力のキューイングおよびスケジューリング 29-15
 - QoS 入力 of キューイングおよびスケジューリング 29-13
 - QoS のポリシングおよびマーキング 29-10
 - QoS 分類 29-6
- ブロードキャスト ストーム 21-2
- ブロードキャスト ストーム制御コマンド 21-4
- フローベースのパケット分類 1-7
- ブロッキング パケット 21-7
- へ**
- ヘルプ、コマンドライン 2-4
- 編集機能
 - イネーブル化およびディセーブル化 2-8
 - 画面幅よりも長いコマンドライン 2-10
 - 使用するキーストローク 2-9

- ほ
- ポート
- VLAN への割り当て 12-12
 - アクセス 10-3
 - スイッチ 10-3
 - スタティック アクセス 12-3, 12-12
 - セキュア 21-8
 - ダイナミックアクセス 12-4
 - トランク 12-3, 12-18
 - ブロッキング 21-7
 - 保護 21-6
 - 目的 10-4
- ポート セキュリティ
- QoS 信頼境界機能 29-34
 - 違反 21-9
 - エージング 21-17
 - スティッキー ラーニング 21-9
 - 設定 21-12
 - 説明 21-8
 - 他の機能 21-10
 - デフォルト設定 21-10
 - トランク ポート 21-13
 - 表示 21-19
- ポート プライオリティ
- MSTP 16-20
 - STP 15-18
- ポート ブロッキング 1-3, 21-7
- ポート ベース認証
- EAPOL-Start フレーム 9-3
 - EAP-Request/Identity フレーム 9-3
 - EAP-Response/Identity フレーム 9-3
 - VLAN への割り当て
 - AAA 許可 9-15
 - 設定作業 9-9
 - 説明 9-9
 - 特性 9-9
 - Wake on LAN、説明 9-11
 - アカウントイング 9-5
 - 音声 VLAN
 - PVID 9-8
 - VVID 9-8
 - 説明 9-8
 - 開始およびメッセージ交換 9-3
 - カプセル化 9-3
 - クライアント、定義 9-2
- ゲスト VLAN
 - 設定時の注意事項 9-10, 9-11
 - 説明 9-10
- スイッチ
- RADIUS クライアント 9-3
 - プロキシとして 9-3
- 設定
- IEEE 802.1x 認証 9-15
 - RADIUS サーバ 9-17
 - クライアントの手動での再認証 9-19
 - ゲスト VLAN 9-23
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信回数 9-21, 9-22
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信時間 9-20
 - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 9-16
 - 制限 VLAN 9-25
 - 待機時間 9-20
 - 定期的な再認証 9-19
 - ホスト モード 9-23
- 設定時の注意事項 9-14
- 説明 9-2
- 装置の役割 9-2
- デフォルト設定 9-13
- デフォルト値へのリセット 9-27
- 統計情報の表示 9-29
- 認証サーバ
- RADIUS サーバ 9-3
 - 定義 9-3
- 複数ホスト モード、説明 9-7
- 方式リスト 9-15
- ポート
- 音声 VLAN 9-8
 - 許可および無許可 9-4
 - 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド 9-5
- ポート セキュリティ
- 音声 VLAN 9-8
 - 説明 9-7
 - 相互作用 9-7
 - 複数ホスト モード 9-7
 - ホスト モード 9-7
 - マジック パケット 9-11
- ポート メンバーシップ モード、VLAN 12-3
- ポート ACL、説明 28-2
- ポートシャットダウン応答、VMPS 12-29

- ポート信頼状態
 - IP Phone 用ポート セキュリティの確保 29-34
 - QoS ドメイン間 29-36
 - QoS ドメイン内 29-32
 - サポート 1-7
 - 分類オプション 29-5
 - ポートチャネル
 - EtherChannel を参照
 - 保護ポート 1-6, 21-6
 - ホスト名
 - クラスタ 5-12
 - ホスト、ダイナミック ポート上の制限 12-34
 - ポリサー
 - 数 29-30
 - 設定
 - 一致する各トラフィック クラス 29-44
 - 複数のトラフィック クラス 29-48
 - 説明 29-4
 - タイプ 29-9
 - 表示 29-70
 - ポリシー マップ、QoS
 - 説明 29-7
 - 特性 29-44
 - 表示 29-70
 - 物理ポートの非階層型
 - 設定 29-44
 - 説明 29-9
 - ポリシング
 - 説明 29-4
 - トークン バケット アルゴリズム 29-9
- ま**
- マーキング
 - 集約ポリサーのアクション 29-48
 - 説明 29-4, 29-8
 - ポリシー マップのアクション 29-44
 - マクロ
 - SmartPort マクロを参照
 - マジック パケット 9-11
 - マッピング テーブル、QoS
 - 設定
 - CoS/DSCP 29-51
 - DSCP 29-51
 - DSCP/CoS 29-54
 - DSCP/DSCP 変換 29-55
 - IP precedence/DSCP 29-52
 - ポリシング 済み DSCP 29-53
 - 説明 29-10
 - マニュアル
 - 対象読者 xxix
 - 目的 xxix
 - マルチキャスト TV アプリケーション 20-20
 - マルチキャスト VLAN 20-19
 - マルチキャスト VLAN レジストレーション
 - MVR を参照
 - マルチキャスト グループ
 - 加入 20-3
 - 静的加入 20-10
 - 即時脱退 20-5
 - 脱退 20-5
 - マルチキャスト ストーム 21-2
 - マルチキャスト ストーム制御コマンド 21-4
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタ 20-17
 - マルチキャスト ルータ ポート、追加 20-9
- み**
- ミラーリング、トラフィック解析 23-2
- む**
- 無許可ポート、IEEE 802.1x 9-4
 - 矛盾、設定 31-14
- め**
- メンバー スイッチ
 - 管理 5-14
 - 候補スイッチ、クラスタ、スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびコマンド スイッチも参照
 - 自動検出 5-4
 - 接続の回復 31-14
 - 定義 5-2
 - パスワード 5-12
 - 要件 5-3
 - メンバーシップ モード、VLAN ポート 12-3

も

- モジュール番号 10-6
- モニタ
 - CDP 22-6
 - Flex Link 18-9
 - IGMP
 - スヌーピング 20-17
 - フィルタ 20-32
 - IPv4 ACL の設定 28-25
 - MAC アドレス テーブル移行更新 18-9
 - MVR 20-26
 - SFP ステータス 10-22, 31-15
 - VLAN 12-17
 - VMPS 12-34
 - VTP 13-18
 - アクセス グループ 28-25
 - インターフェイス 10-22
 - 機能 1-8
 - スイッチ間を流れるトラフィック 25-2
 - 速度およびデュプレックス モード 10-15
 - 単一方向リンクのケーブル 24-2
 - トラフィックの抑制 21-19
 - プローブによるネットワーク トラフィック解析 23-2
- ポート
 - ブロッキング 21-19
 - 保護 21-19
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス 20-17

ゆ

- ユーザ EXEC モード 2-2
- ユーザ名ベースの認証 8-8
- ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-4
 - CPU パケット 6-26
 - スタティック アドレスの追加 6-26
 - 設定時の注意事項 6-26
 - 説明 6-26
 - ブロードキャスト MAC アドレス 6-26
 - マルチキャスト アドレス 6-26
 - ルータ MAC アドレス 6-26
- ユニキャスト ストーム 21-2
- ユニキャスト ストーム制御コマンド 21-4
- ユニキャスト トラフィック、ブロッキング 21-7

よ

- 要件
 - Network Assistant xxxi
 - クラスタ xxxi
 - デバイス マネージャ xxxi
- ら
 - ライン コンフィギュレーション モード 2-3

り

- リモート SPAN 23-3
 - RSPAN を参照
- リロードのスケジュール 3-18
- リロード、ソフトウェア 3-18
- リンク障害
 - 単一方向の検出 16-8
- リンク冗長
 - Flex Link を参照
- リンク、単一方向 24-2

る

- ルート ガード
 - イネーブル化 17-16
 - サポート 1-6
 - 説明 17-8
- ルート スイッチ
 - MSTP 16-18
 - STP 15-15
- ループ ガード
 - イネーブル化 17-17
 - サポート 1-6
 - 説明 17-9

れ

- 例
 - ネットワークの構成 1-12
 - 表記法 xxx
 - レイヤ 2 traceroute
 - 1 ポートに複数のデバイス 31-19
 - ARP 31-18

- CDP 31-18
- IP アドレスとサブネット 31-18
- MAC アドレスと VLAN 31-18
- 使用時の注意事項 31-18
- 説明 31-18
 - ブロードキャストトラフィック 31-18
 - マルチキャストトラフィック 31-18
 - ユニキャストトラフィック 31-18
- レイヤ2 インターフェイス、デフォルト設定 10-11
- レイヤ2 フレーム、CoS での分類 29-2
- レイヤ3 パケット、分類方法 29-2
- レポートの抑制、IGMP
 - 説明 20-6
 - ディセーブル化 20-16

ろ

- ローカル SPAN 23-2
- ログメッセージ
 - システムメッセージロギングを参照
- ログメッセージのシーケンス番号 26-8
- ログメッセージのタイムスタンプ 26-8
- ログインバナー 6-19
- ログイン認証
 - RADIUS 8-25
 - TACACS+ 8-16